

グループ経営構想 <sup>ファイブ</sup>V「今後の重点取り組み事項」の進捗及び更新について

当社グループは、2年前に「グループ経営構想V ～限りなき前進～」を策定し、「地域に生きる。世界に伸びる。」という経営の方向性を決めました。お客さまや地域の皆さまから期待されている「変わらぬ使命」を果たすとともに、私たち鉄道の持つ「無限の可能性」の追求に向けて、日々挑戦を続けております。

昨年10月に、「グループ経営構想V」の実現に向けた取り組みを加速させるため、特に力を込めて推進を図る項目として「今後の重点取り組み事項」を発表しましたが、今回、その後1年の進捗を踏まえ、さらに更新いたしました。

◆ グループ経営構想V「今後の重点取り組み事項」

1. 変わらぬ使命

※ 下線部は今回から新たに「今後の重点取り組み事項」に盛り込んだ項目

(1) きわめる ～ 「究極の安全」に向けて

- 災害に強い鉄道づくり
  - ・ 耐震補強対策について2016年度末までに計画の約8割を完了見込み
  - ・ 構造物、軌道設備、駅舎などの老朽設備の適切な更新
- ホームドア第2期整備計画の策定
  - ・ お客さまのご利用が多い駅を優先に山手線以外の駅への整備を推進
  - ・ 施工が容易な新たな方式のホームドア導入の試行などによるコストダウンの徹底
- グループ安全計画2018の確実な推進

(2) みがく ～ サービス品質の改革

- 輸送品質のさらなる向上
  - ・ 雪害対策の推進などによる輸送障害の発生防止
  - ・ 折返し運転・別線運転の強化などによる輸送障害発生時の影響拡大防止
  - ・ 列車運行情報サービスの案内線区拡大などによる輸送障害発生時の情報提供の充実
- 東京圏鉄道ネットワークの拡充
  - ・ 上野東京ラインの運行体系整備などの東京圏鉄道ネットワークのブラッシュアップ
  - ・ 羽田空港アクセス線構想の具体化に向けた事業スキーム等の検討
  - ・ 地域と連携した戦略的新駅の候補地選定・実現
- 北陸新幹線及び北海道新幹線開業に向けて
  - ・ 北陸新幹線金沢開業に伴うご利用しやすい運行体系の整備と提供サービスの充実
  - ・ 金沢開業にあわせた着地観光開発の推進、広域観光ルートの整備及び「Japanese Beauty Hokuriku」などのキャンペーン展開
  - ・ 北海道新幹線新函館北斗開業に向けた着実な準備
- ICTを活用したチケットの利便性向上
  - ・ S u i c a利用可能箇所の拡大
  - ・ モバイル端末を利用したSuicaの利便性向上

### (3) ともにいきる ～ 地域との連携強化

- 「3つのまちづくり」の着実な推進
  - ・ 品川駅などターミナル駅におけるブランド確立による魅力・利便性向上
  - ・ 中央ラインモールプロジェクト推進などの選ばれる沿線ブランドの確立
  - ・ コンパクトシティ構想を踏まえた地方中核駅におけるまちづくりの展開
- 「のもの」や産直市の展開による地域経済の活性化
  - ・ 首都圏における地産品の販路拡大・情報発信強化
  - ・ 「のもの1-2-3プロジェクト」など農林漁業の「6次産業化」の推進
- 観光立国の推進
  - ・ 台湾現地旅行会社への経営参画などによる旺盛なインバウンド需要の取込み
  - ・ 「東日本版ゴールデンルート」の立上げ
  - ・ クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島（トランススイートしきしま）」の導入準備

## 2. 無限の可能性の追求

### (1) ひらく ～ 技術革新

- エネルギー・環境戦略の推進
  - ・ 電力安定供給とCO2排出量削減をめざした自営電力網の整備
  - ・ 交流区間乗入れ用の蓄電池駆動電車の導入に向けた準備
  - ・ 北東北の「再生可能エネルギー基地」化
  - ・ 回生電力の有効活用などによる鉄道へのスマートグリッド技術導入
- ICTを活用した業務革新
  - ・ 現業機関でのタブレット端末の活用推進や好事例等の水平展開
  - ・ 触車事故防止に向けた無線を活用した列車接近警報装置の開発
  - ・ モニタリング装置のモデル線区への導入などによるメンテナンス業務革新
  - ・ 駅遠隔操作システム導入などによるICTを活用した新たな駅業務体制構築
  - ・ 無線式列車制御システムの導入による輸送システムの変革
- 現場第一線の社員による技術革新

### (2) のびる ～ 新たな事業領域への挑戦

- 海外プロジェクトへの挑戦
  - ・ タイ・バンコク都市鉄道「パープルライン」の開業に向け、車両供給及び鉄道システムのメンテナンス業務を着実に推進
  - ・ インドネシア鉄道事業者への技術支援の深度化
  - ・ 積極的な情報収集・発信による新たな海外案件の獲得に向けた取組み
- 生活サービスにおける新たな事業領域への挑戦
  - ・ エキナカ事業を基盤としたグループ一体となった新業態・サービスの推進
  - ・ 生活サービス事業の海外展開
- 社外の優れた技術・製品の導入
- 「経営の第4の柱」鉄道車両製造事業の確立
  - ・ ステンレス車両「sustina（サスティナ）」の積極的展開による国内外案件の獲得
  - ・ 日本のLRT市場等における海外メーカーとの協業
  - ・ 鉄道車両製造事業の効率的な業務運営の追求

### (3) はばたく ～ 人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

- 社員の意欲を引き出しさらなる成長機会を提供
  - ・ 公募制の人事異動や研修制度の充実
  - ・ 多様な海外派遣メニューの継続展開によるグローバル人材の育成強化
  - ・ 新中期アクションプラン策定などによるダイバーシティの推進
- 一体感のあるグループ経営の推進
  - ・ グループ内のポイント共通化による魅力的なサービスの構築
  - ・ グループのヘビーユーザー向けの新たなクレジットサービスの展開
- ワークスタイル改革、組織運営の効率化
  - ・ コンパクトでより生産性の高い業務執行体制の追求
  - ・ グループ一体となった受委託業務の効率性・生産性の向上

### 3. 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて

- 安全かつスムーズ・快適な移動サービスの提供
  - ・ 輸送力の増強や会場最寄駅等の設備強化
  - ・ 昇降設備や多機能トイレなどのバリアフリーの推進
  - ・ 無料公衆無線LAN拡充などによる海外からのお客さまの受入れ態勢の充実
- 東京圏の観光流動活性化と地方への誘客
- ターミナル駅開発の推進による東京の魅力向上

【参考】「グループ経営構想V ～限りなき前進～」の概要（2012年10月30日発表）

- (1) JR東日本グループのコンセプトワード：地域に生きる。世界に伸びる。
- (2) 経営の重要な柱：「変わらぬ使命」と「無限の可能性の追求」

#### 【変わらぬ使命】

「安全で品質の高いサービスの提供を通じて、地域の発展に貢献する」という基本的な使命はいつの時代も変わらない。社会的な要請に応えることができる内容・レベルとするために、不断の努力を続ける。

- ① 「究極の安全」に向けて ～災害に強い鉄道づくり～
- ② サービス品質の改革 ～鉄道ネットワークの拡充等～
- ③ 地域との連携強化 ～震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化～

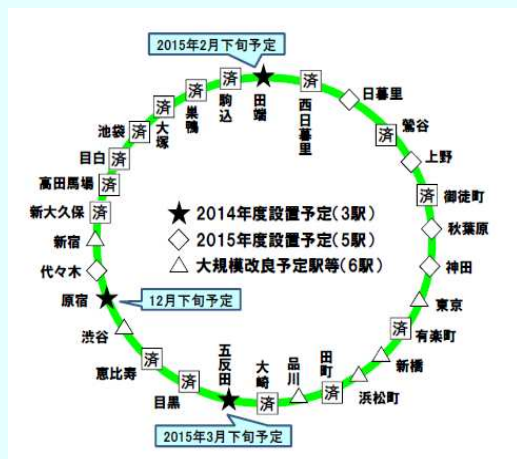
#### 【無限の可能性の追求】

激しい変化の中で、常に新たな目標に挑戦し続けなければ、成長は成し遂げられない。以下の3つの観点から、当社グループ、そして社員一人ひとりが持つ「無限の可能性」を追求していく。

- ① 技術革新 ～エネルギー・環境戦略の構築、ICTの活用、高速化～
- ② 新たな事業領域への挑戦 ～グローバル化～
- ③ 人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

## この1年間の取組み内容

- 総額3,000億円の耐震補強対策などの推進
  - 重点整備期間が終了する2016年度末に向けて耐震補強対策を着実に実施
  - 御茶ノ水駅付近盛土の耐震補強の施工推進
  - 地震観測体制の強化に向けた海底地震計情報の導入についての関係箇所との協議や環境整備を推進
- ホームドア整備計画
  - 山手線において、2015年度までに使用開始する23駅のうち、2014年度末時点の設置駅数は合計18駅（予定）に設置



【山手線各駅におけるホームドア整備状況】

## 3. 次期安全計画の策定

- 「グループ安全計画2018」を策定・発表

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

## 1. 災害に強い鉄道づくり

### (1) 耐震補強対策の推進

- 新幹線高架橋・電化柱、高さ8m以上の盛土及び駅・ホームの壁などの耐震補強対策について2016年度末までに計画の約8割の完了をめざす



高架橋(新幹線) 東北新幹線 水沢江刺～盛岡間



橋脚 東北新幹線 上野～大宮間



盛土 中央線御茶ノ水駅付近

### (2) 構造物、軌道設備、駅舎などの老朽設備の適切な更新

- 新幹線大規模改修及び新幹線レール交換の計画策定・推進

## 2. ホームドア第2期整備計画の策定

### (1) ホームドア第2期整備計画

- 乗降人員や目の不自由なお客さまのご利用が多い駅を優先に、山手線以外の駅への整備を推進

### (2) 導入拡大に向けたコストダウンの徹底

- 工事費圧縮や工期短縮などにより、山手線の整備費用と比較し約2割のコストダウンをめざす
- 施工が容易な新たな方式のホームドア導入の試行

## 3. グループ安全計画2018の確実な推進

- 発生頻度・リスクが高い事故に関する対策の深度化と実行
- 安全を担う社員をグループ全体で着実に育成し、安全分野で社員が力を発揮できるステージを提供
- 川崎駅での列車脱線事故を教訓としたソフト・ハード両面からの具体的な事故防止対策の展開

## この1年間の取組み内容

### 1. 輸送品質のさらなる向上

- 次世代分岐器を整備
- 故障に強いE233系を横浜線及び南武線に導入
- 首都圏において電気融雪器を整備
- 京葉線及び総武線の3箇所防風柵使用開始
- 折返し運転・別線運転の拡大に向け、設備改修の推進および線区ごとの検討
- 「JR東日本アプリ」及び「どコレ」のサービス開始

### 2. 東京圏鉄道ネットワークの拡充

- 上野東京ラインの開業準備推進
- 南武線の快速区間拡大
- 特急「スワローあかぎ」に新通勤着席サービスを導入
- 羽田空港アクセス線構想を発表

### 3. 北陸新幹線開業に向けて

- 設備検査や走行試験など開業準備を推進
- びゅうばす等の運行による広域観光ルートの整備推進
- 北陸新幹線用新型車両E7系の投入開始

### 4. ICTを活用したチケットングの利便性向上

- 首都圏周辺や仙台・新潟圏などの13線区36駅においてSuica利用可能箇所拡大

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. 輸送品質のさらなる向上

#### (1) 輸送障害の発生防止

- 気象条件の変化を踏まえた自然災害(雪害等)対策の推進
- 上野東京ライン等の直通輸送体系拡大を踏まえた輸送品質向上

#### (2) 輸送障害発生時の影響拡大防止(折返し運転・別線運転の強化)

#### (3) 輸送障害発生時の情報提供の充実

- 個別列車の運行状況を確認できる列車運行情報サービスの案内線区の拡大

### 2. 東京圏鉄道ネットワークの拡充

#### (1) 東京圏鉄道ネットワークのブラッシュアップ

- 上野東京ラインの運行体系整備など開業準備の完遂と利便性の高いサービスの提供
- 中央線のサービス改善、東京メトロの輸送改善及び首都圏特急列車の競争力強化

#### (2) 羽田空港アクセス線構想の具体化に向けた事業スキーム等の検討

#### (3) 戦略的新駅の候補地選定・実現

- まちづくりの課題へのソリューションとなる戦略的新駅を地域と連携しながら検討・実現

### 3. 北陸新幹線及び北海道新幹線開業に向けて

#### (1) 北陸新幹線金沢開業に伴うご利用しやすい運行体系の整備と提供サービスの充実

#### (2) 北陸新幹線金沢開業効果の幅広い波及をめざした着地観光開発の推進・広域観光ルートの整備

- 「越乃Shu＊Kura」等を活用した広域観光ルートの提案
- 観光周遊バスによる「松本～高山～北陸」広域観光ルートの定着

#### (3) 北陸新幹線のご利用増に向けたキャンペーンの展開

- 「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン、北陸 destinations キャンペーンなどの展開

#### (4) 北海道新幹線新函館北斗開業に向けた着実な準備



【Japanese Beauty Hokuriku】

### 4. ICTを活用したチケットングの利便性向上

#### (1) Suicaのさらなる普及に向けた利用可能箇所の拡大

#### (2) お客様のニーズに合わせたチケットングの利便性向上の追求

- きっぷのネット予約・購入の分かりやすさ及び受取りやすさの向上
- モバイル端末を利用したSuicaの利便性向上 (iPhone※を用いたSuicaへのチャージサービス等)

## この1年間の取組み内容

1. 大規模ターミナル駅や沿線ごとのブランド確立
  - 東京駅丸の内駅前広場・丸の内地下エリア整備計画の公表
  - 東京駅開業100周年記念サイトオープン
  - 品川～田町駅間の新駅設置及びまちづくりに向けた計画の公表
  - 渋谷駅街区開発計画Ⅰ期(東棟)の工事着手
  - 中央ラインモール「nonowa東小金井」開業
  - サイクルシェアリング「Suicle」開業
2. 地方中核駅におけるまちづくりの展開
  - 山形駅観光案内所・待合室の整備
  - 「MIDORI長野」「熱海駅ビル(仮称)」の工事着手
3. 「のもの」や産直市の展開による地域経済の活性化
  - 「のもの」秋葉原店開業
  - (株)JRとまとランドいわきファーム設立
  - 「十日町すこやかファクトリー」において米粉を用いた菓子などの出荷開始
4. エキナカにおける新たな業態・サービスの展開
  - 三鷹駅「KINOKUNIYA vino kitchen」の開業
5. 観光立国の推進
  - 台湾「創造旅行社」への経営参画
  - 「東日本版ゴールデンルート」のインバウンド用共通ロゴ・キャッチコピー決定
  - 「のってたのしい列車」運行(SL銀河など)
  - クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島(トランスイートしきしま)」のデザイン等の公表

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. 「3つのまちづくり」の着実な推進

- (1) ターミナル駅におけるブランド確立による魅力・利便性向上
  - 品川～田町間に創出される大規模用地における新駅及び品川駅を中心としたまちづくり計画の推進
  - 新宿駅・渋谷駅・横浜駅など大規模ターミナル開発の着実な推進
- (2) 選ばれる沿線ブランドの確立
  - 「nonowa国立(第1期)」開業など、中央ラインモールプロジェクトの推進
- (3) 地方中核駅におけるまちづくりの展開
  - 自治体のコンパクトシティ構想を踏まえた地域の活性化につながる駅周辺機能の再検討
  - コミュニティスペースや観光案内機能の整備など、長野駅・熱海駅等における地元と連携した駅の顔づくりの推進



### 2. 「のもの」や産直市の展開による地域経済の活性化

- (1) 首都圏における地産品の販路拡大・情報発信強化
  - 「のもの」の店舗数拡大、産直市及び小規模マルシェの積極展開
- (2) 農林漁業の「6次産業化」の推進
  - 「のもの1-2-3」プロジェクトの推進と「十日町すこやかファクトリー」における販路拡大



【十日町すこやかファクトリーの米粉を用いた菓子】

### 3. 観光立国の推進

- (1) 海外における日本の鉄道旅行の販売力強化
  - 台湾現地旅行会社(創造旅行社)への経営参画による販売体制の強化
  - 東南アジア市場を中心に各国旅行会社とのアライアンス体制の確立
- (2) 東北へのインバウンド需要拡大に向けた「東日本版ゴールデンルート」の立上げ
- (3) クルーズトレイン(豪華列車)の導入準備
  - 「日本を楽しむあなただけの上質な体験」を提案するクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の導入準備



【TRAIN SUITE 四季島】

## この1年間の取組み内容

### 1. エネルギー・環境戦略の推進

- 川崎火力発電所1号機の更新に向けた準備を推進
- 烏山線において蓄電池車両の営業運転開始



【蓄電池車両 EV-E301系「ACCUM(アキュム)」】

- 北東北エリアにおいて、風力・地熱・バイオマスの各発電について事業性を調査中
- 変電所等に電力融通装置・電力貯蔵装置を設置し、効果を検証中
- 恵比寿、国分寺、西船橋の先行3駅において、使用電力のデマンド制御を開始、効果を検証中

### 2. ICTを活用した業務革新

- 各職場にタブレット端末を配付済(累計約2万3千台)、連携する業務システムを構築中
- 「えきねっと」等の機能増強に向けた開発の推進
- 駅遠隔操作システム導入

### 3. 現場第一線の社員による技術革新

- イノベーションリーダー、コンダクターを選定し、実務研修や意見交換を実施
- 社内公募制のイノベーションカレッジ開講

## 今後の重点取組み事項

※下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. エネルギー・環境戦略の推進

- (1) 電力安定供給とCO<sub>2</sub>排出量削減をめざした自営電力網の整備
- (2) 蓄電池車両の導入拡大
  - 交流区間乗入れ用の蓄電池駆動電車の導入に向けた準備の推進、「架線レス化」の実現に向けた検討
- (3) 再生可能エネルギーの積極導入
  - 豊かな自然環境を活かした北東北の「再生可能エネルギー基地」化(太陽光・風力・地熱・バイオマス)
- (4) 鉄道へのスマートグリッド技術の導入
  - 電車が停止するときに発生する回生電力の有効活用の推進

### 2. ICTを活用した業務革新

- (1) 現業機関でのタブレット端末の活用推進・好事例等の水平展開による更なる業務革新
- (2) 触車事故防止に向けた無線を活用した列車接近警報装置の開発
- (3) メンテナンス業務の革新
  - 線路・電力設備のモニタリング装置をモデル線区へ導入し、実用化を推進
  - 故障の予兆把握、事前対処、迅速な復旧に向けた車両モニタリング機能をE235系に導入
- (4) ICTを活用した新たな駅業務体制の構築
  - 「えきねっと」等の販売システムの機能増強や旅行商品のオンライン販売機能の構築
  - 駅遠隔操作システム導入の推進によるお客さまの利便性向上及びご利用状況に合わせた効率的な駅運営体制の構築
- (5) 輸送システムの変革
  - 無線式列車制御システムの導入に向けた、埼京線での工事着手(ATACS)及び常磐緩行線での設計作業着手(CBTC)



【線路設備モニタリング装置の走行試験風景】

### 3. 現場第一線の社員による技術革新

- イノベーションリーダー・イノベーションコンダクター(技術革新連絡員)による情報発信及び技術開発成果の導入促進

## この1年間の取組み内容

### 1. 海外拠点の増設

- 鉄道事業に関する情報収集及び鉄道に関する日・欧のさらなる連携に向けロンドン事務所を設置

### 2. 海外鉄道プロジェクト等への参画

- タイ・バンコク「パープルライン」の鉄道車両供給及び鉄道車両・地上設備のメンテナンス事業への参画決定
- ジャカルタへの205系車両の譲渡及び当社技術者による技術支援を実施
- 日本コンサルタンツ株式会社による英国の高速鉄道計画におけるコンサルティング業務の提供

### 3. 「経営の第4の柱」鉄道車両製造事業の確立

- タイ・バンコク パープルラインの車両製造受注プロモーション活動の展開
- 日本のLRT市場におけるJ-TRECと海外メーカーとの連携強化を推進
- J-TRECと当社の新津車両製作所の統合を実施（当社の車両製造事業をJ-TRECに承継）

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. 海外プロジェクトへの挑戦

#### (1) タイ・バンコク都市鉄道「パープルライン」での事業推進

- 2016年開業に向けた車両供給及び鉄道システムのメンテナンス業務の着実な推進

#### (2) インドネシア鉄道事業者への技術支援の深度化等

#### (3) 新たな海外案件の獲得に向けた取組み

- オペレーション分野やメンテナンス分野を含めた海外都市鉄道プロジェクトの情報収集と案件発掘
- 海外高速鉄道プロジェクト関連の情報収集、ビジネススキームの検討と新幹線技術の世界への積極的な発信



【国際鉄道技術見本市イートランス（ドイツ・ベルリン）での展示風景】

### 2. 生活サービスにおける新たな事業領域への挑戦

#### (1) 競争力強化に向けた新たな業態・サービスの展開

- エキナカ事業を基盤としたグループ一体となった新業態・サービスの推進

#### (2) 生活サービス事業の海外展開

- 海外における事業機会の創出に向けた、グローバル人材の育成と事業トライアルの実施

### 3. 社外の優れた技術・製品の導入

- 社外の優れた技術の導入や海外製品の調達拡大に向けた、国内外の企業との交流や当社からの情報提供の充実

### 4. 「経営の第4の柱」鉄道車両製造事業の確立

- (1) ステンレス車両「sustina(サスティナ)」の積極的な展開による国内外の案件の獲得
- (2) 日本のLRT市場等における海外メーカーとの協業
- (3) 鉄道車両製造事業の効率的な業務運営の追求



## この1年間の取組み内容

### 1. 意欲ある社員へのさらなる成長機会の提供

- 公募制の人事異動の実施
- 他企業や官公庁との人事交流の拡大
- 長期・短期の留学、各種トレーニー、海外研修、他企業出向などの海外派遣を実施(600名程度)



【短期留学の授業風景】

- メンテナンス分野の中核を担う人材を対象とした技能教習所の整備完了(2013年度末104箇所)
- 「実務技術者研修」の新規設定
- 営業アカデミー設立

### 2. 一体感のあるグループ経営の推進

- 当社グループにおいて情報共有基盤(グループポータル、共通 アドレス帳、動画配信等)を使用開始

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. 社員の意欲を引き出しさらなる成長機会を提供

#### (1) 公募制の人事異動や研修制度の充実

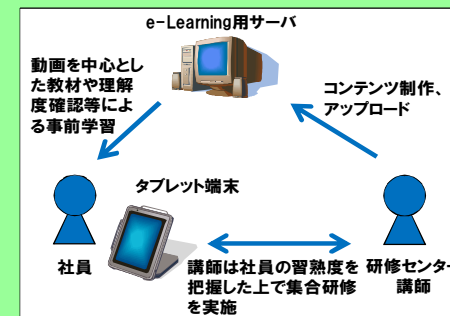
- 社員の意欲に応え、仕事を通じた成長を実感できるしくみの深度化
- 急激な世代交代を見据え、職場の核となる人材の育成と積極的な運用
- e-Learningを活用した教育の推進(集合教育の事前学習、自己啓発支援)

#### (2) グローバル人材の育成強化

- 今後のグローバル戦略や企業風土改革を見据え、長期・短期留学や海外研修、他企業への出向等の多様な海外派遣メニューの継続展開
- 英語以外の外国語学習を含めた自己啓発支援メニューの拡大

#### (3) ダイバーシティの推進

- 多様な人材の活躍を推進するための新しい中期アクションプラン策定
- 女性の採用と活躍できる場の拡大
- 障がい者雇用の推進



【e-Learningの概要】

### 2. 一体感のあるグループ経営の推進

#### (1) 今後のグループポイントのあり方の検討

- グループ内に複数存在するポイント(ビューサンクスポイント、Suicaポイント、駅ビルのポイント等)の共通化による魅力的なサービスの構築

#### (2) グループのヘビーユーザー向けの新たなクレジットサービスの展開

### 3. ワークスタイル改革、組織運営の効率化

- コンパクトでより生産性の高い業務執行体制の追求
- 業務執行体制や仕事の進め方の見直しによる、グループ会社と一体となった受委託業務の効率性・生産性の向上
- 企画部門におけるオン(質の高い働き方)とオフの両立実現に向けた「メリハリ☆ワーク」の推進

## この1年間の取組み内容

1. 輸送力の増強や会場最寄駅等の設備強化
  - お客さまの集中が予想される線区の需要想定に基づき、輸送計画の検討を開始
  - 会場最寄駅等を中心に駅改良工事の可能性について検討を開始
2. 海外からのお客さまの受入れ態勢の充実
  - 社員の外国語案内について、現場の状況に応じた支社ごとの取組みを開始  
東京：「Tokyo OMOTENASHI Project」  
大宮：「訪日外国人おもてなしプロジェクト」
3. 国・東京都主催の各種会議体への参画
  - 国・東京都等の主催するオリパラに向けた各種検討会・協議会へ積極的に参画
4. オリンピック・パラリンピック委員会の設置・開催
  - 委員会において大会開催に向けた課題への対応方針や準備の進捗状況を議論

## 今後の重点取組み事項

※ 下線部は、今回から新たに「今後の重点取組み事項」に盛り込んだ項目

### 1. 安全かつスムーズ・快適な移動サービスの提供

#### (1) 輸送力の増強や会場最寄駅等の設備強化

- 輸送力確保に向けた東京都・大会組織委員会・他交通事業者等との連携を強化
- 大会期間中の安全・快適・スムーズな移動の確保に向けた、会場最寄駅及び乗換駅等の駅改良工事計画の推進(千駄ヶ谷・新橋等)

#### (2) バリアフリーの推進

- 昇降設備や多機能トイレ等のバリアフリー設備を着実に整備

#### (3) 海外からのお客さまの受入れ態勢の充実

- 山手線内の駅等、海外からのお客さまのご利用の見込める箇所への無料公衆無線LAN(JR-EAST FREE Wi-Fi)の拡充
- 駅や車両における海外のお客さまに対する乗換案内や運行状況等の情報提供の充実
- 海外からのお客さまに対する接遇のレベルアップに向け、現場第一線の社員の発意を活かした取組みを推進
- 訪日外国人受入体制整備に関わる国・東京都・他交通事業者等との連携を強化



【JR-EAST FREE Wi-Fiステッカー】



【東京駅 訪日旅行センター】

### 2. 東京圏の観光流動活性化と地方への誘客

- 海外からの列車予約サイト(JR-EAST Train Reservation)の利便性向上

### 3. ターミナル駅開発の推進による東京の魅力向上

- 品川駅及び新駅を中心としたまちづくり計画と新宿駅・渋谷駅など大規模ターミナル開発の着実な推進



【田町～品川間新駅イメージ】